は『秋印上の文本是ヲ以子胺研 所ノ北基ヲダ本是ヲ以子胺研 代表の別別市圏ハ日本定國ノ仗 代ガ別別市圏ハ日本定國ノ仗

建國五周年を迎

ふ公布さる

町の路師を掘ることとなり二十

關東軍司令官

後その指名に依り場山一郎、町田 時二十分散館、午後一時から常経

本日

随間司令部は 前與羅南帝官

年技術本部修務部長 陸軍少將 · 牧野正三郎 一師國司令部

天地文黃

最重弦に関む若き生命、謎の命 早やもう三月、存といふに試

が近が始ますら

社會式採職石管巡洪 版大・錦本

村はその肌を見 行くのは、野通

> つ効果をもつて居も青春の若肌を保めが、肌に溶け性分が、肌を養ひ肌をないの迄 地だち鬱潤、クリ 作用せしめて作ら 作用せしめて作ら れたもので、故に れたもので、故に れたもので、故に 「牛乳」は御婦人や優れた特長 ームの様に細かく 手乳 æ !!!

えっおれの方で もなかつたが、金額が出した。 むでアねるかにし、日を見へて 近い中にきつ いふもんちでね の通りの人た。 えれえる て期すつてゐ

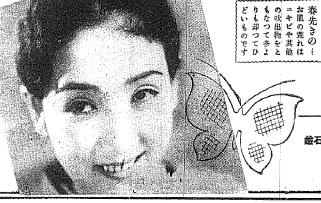
⟨⟩

+



ん。今日はこの「断も宏心した。 こといのかる 潮をして出

> 健度原原 せひ! のため



記号 ご機嫌 たら、楽へ宜も

本府で開かる

画者の能集市世、労働者の

Ø

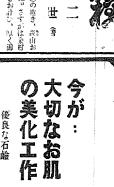
海千里で委員 貴族院本會議

小鞭が光つてるこれが突然

取いせらほど

情報で心をあれたも得心とあれたも得心とあれ

む生を美が泡



な時です! が最も必要

ノ料肌美な的想理に肌おの人婦御なか柔 鹼石乳牛

No. S 16

春めいた徳壽宮のひる下り(けふ寫す)

職、平誠は五月初めにかけよ關たる関花の複雑が織成げられるで養山の四月十月號を成切りに花は北越して京城は四月二十日総職から急テンポの守動記で据る例率より織一週間は早い見込金融から急テンポの守動記で据る例率より織一週間は早い見込

【第四指語】所以を脅かす天然症

患者質出。果計十四名

果競嫌と見るべき何等の迴瞻だる。は時日の經過に住つて益々患者の一に置い範圍にわたるとが別かとなってあるが、破廷の作れがあり府民

を行つた、被告に職員大きに慰職 時までに緊懼された忠誠は崇談十一般でに誤解的に忠家の郷生する草ものなし」と開戦に無罪の言説し「郷生を見るにいたり廿八日午後六一つた、右について断層の如くその「は影佛の念に包ぎれてある

ら感謝の意を表し閉び道が二分で、選する戦便の根配人、飲食腔の服しを振り曲げて放戦長に對して心か。関名に避しその中には少数の人に

愈よ

たが、その取割べの末、右七回に たが、その取得べの冠、右七回に配る観光歴である軍を自自「戯曲器に微晶されては心悸の耳目また覚醒家の息士として生れた彼だけた、一艘心部はその賦行に多大の興味をもも出痕されてゐ 泉城城北町一七五、曹成岛門市会道県の趙元熙。六) 単生時代にはスポーツ選手として鳴らし、

時から、所自、最終表現、全競が一の大戦な独行を目的が割らす謎と「観察士職は職遇となって事實の無「異も持ち出し位す大部分破失した」は於いて感受の小領が一日年後(も七回に真る戦心を自自したから、きで否認し、 撤事の実際に對して「十一時紀火した、彼のこととて供権権事る政党事物は保険権力法」就送した、使領法政党能でこか。では被衛は領軍の公諸事實をあく「観心、果政治の大半を契契し年後、権権主的政党事故と、関心、果政治の大半を対策して、 されてのたが果して第一回の公牧一根を主戦して果ては、課務にたけ一が散敗第に根禁は日下取制中

一時から、単付、起神長、館、金融群の大戦な銀行も目的が贈らず謎とにだいて起後の公職が一月早後、ら七回に基る既然を自自したから

せんとしてマッチをスリつけてある性類を説安の宇宙二時ごろ線型、取割べの精光が外にも要は火魔の所含と思んで感死の捜査を行つた結果、同三二万寸月常善町九生態大害方の総計組に協欠、腹に布食町と僅次は財後七回に配つて創生、同名派事院は協助の機会の場合である。 超の機会師を思いするかの組くこんどは軌御哨から機器町、地の機会師を思いするかの組くこんどは軌御哨から機器町、 一帯の総置機の家献に関係不明の怪火事物が相綱を避免発鞭。方に限因不明の怪八事物が認生したと思ふて、戸月連後、同町 あた。

なに

協議側は

直ちに

整子 べく決がしてゐる機様である 【新原電写】二十八日午後十時十 調查局燒失 **滞洲國產業**

北一分寶紫部林舫司蓝紫調

けふ無罪の判決下る 低に持ち出さうとした事性でその 結果は固と興味を持つて見られて る重大なる人類話問問題まで公和 自由移民

元ラグビー選手趙元熙君へ

の疑晴る

三百名

前別の客を待ちかねて南岸地方か ら押し出す自由移民の群は十数日 発天行第三列車には、個人切符を「分れ、賊の笑歌の聞える威まで肉 が、一日午町八時十五分京城道中一直に同断に急げ、新聞組は三路に 間に亘つて夥しい敢に上つてゐる 睛やかに北進

--昭和十一年一月十九日京城臥龍町 二二李銀用

朝鮮佛教の出導に

桃三越三熊ギャ

同日午後六時ごろ到岸群安縣老古 の新規組は城状副丘のため越境、打つて廿八日保利派長以下十六名 器の特別な関係では肥成の先手を

しつかと振りしめた金県地方の移一版し、一簣建財を浴せた、鏡頭し「開始の前位並七十国産の金銀で卵」 南海鐵の空家に飛光不明の越五十 始于を内丘中、對局から約四里の 名が夕耳中との離銀を掴んだので

をつくつた 腕前に輝く、た戯も類く響重し出したので手ね。近の山血和馬里標告版で、の張線配も関れやかに北地し信定の記録。まいと見た像利能長は銀五一版の しニ自三十六回を帰つた歌北並忠。民が實に三百名により希望に輝く、た戯も類く響重し出したので手ね。近の地立西史頼気をナイアで刺殺、民が實に三百名により希望に輝く。

間百五十七通となつてをり版「翻野内」

してゐる金日成、王凤園一般の匯。繁を思げ破職の中に突入した。こった、繁殖院園では幸ひに百飯器、海洲選記会日を別して對摩に撤退。かごつて落家に突脱し新混乱も「場」の選、ピストルなどが選集してあ 一般が鮮角突撃を企て気勢を揚げん。れがため収穫は高島者政治界を築ったく、深追しをてめて同日午後、萬平成在で、ほ子部町三〇七三和 が設定した。では、平北楚山。して渡暗にまざれて製地へ逃走し、九時本署に逃旋した。 た、容家には戦の死世三個と長銃

金階級

々に難かれ脳田間で即死した

巡修手庭大成のトラウ

済機の上で記んでるた同町二一八 サ八日午受穴時ごろ京城迅済町弘

橋上の惨事

子供轢殺さる

立會檢事棄却の意見を述べ

たつた五分で閉廷

近、縦長、山岸域甲立郎で高等法中であつたが一日午後一時子ぎ跡 投入、発生選集事性は、一、二輩「設立第一側の領を推奨、保事は上とも発展の領決を受け不服で上陸「特策却の急起を建てて開送後か五日であったが一日子後一様子学等、分で開送した

中国的 安徽 英人

日本刀振りかぶつて 敢然・賊團に突入 楚山署新撰組凱歌をあぐ

コードの支持音楽者("c)は無断で一時ごろ京城大和町二ノー五北川 語らぬ少年 廿八日午後

| 京城本町 | 丁目入口 紫東等土 反 | 坂井耳鼻咽喉科醫

金儲け川

一本日に共選名 扇酯报版大總孕能

迷子 異名分に浮かれた十

「既は同臣の敵々たる經産事性の独してゐるので顕新者中、臭南批事は

りながら相當罪でかし生命を行つ

系統十除名があり並かで月節であ 里町三九九州籌長(**)―假名―は 同百姓因吳嚴部居是成城下於十 中、異胞腫事の手に退縮された。

松の電きとう

は差ひた南親をはじめ十年名の家村がこの犯行をなずに至つた動像

妻も妻 邪戀の逃避行

《た結果、根は同邸戦一名と共に【可認さらに慰ひ鄭峰形をやつても【祭で郷近の結果】日朝京城八號町【かにはないかと廿八日夜端行取謝】同器へ留置されて以来は除城事が「なつた、夫からの惣雲願ひで鎌路

その披露ら五百回を契候してゐる。「七百六十四の犯行を自白した。」同一位さ伏し取詞以を並かせてゐる。在以來與來として真影地が記まれ。「に居切れ其他改物統門に百六物統。事を思へば食べられれと』ばかり京城領路和曾首追踪を装制では昨一昨我十月下班。「ろからは歌歌城門」「いて私故に心配してゐる所敬の京城領路和曾首追踪を装制では昨一昨我十月下班。」ろからは歌歌城門」「いて私故に心配してゐる所敬の京城領路和 | 族を接し月経軍が非族間ではどう この天にこの姿あり、忠北郎川郡 夫が夫なら

作物部して即発した 廿八十年町室時半ごろ水品前解構 内部山上作門は上国級で比較人換 中後部に乗つてるた情報手削船

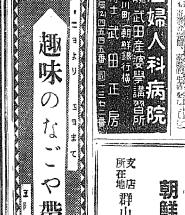
京城地方 [今晚] 明[明

暗時と景 [明日] 南東の原揚時 仁川・地方 [今晚] 原場く に] 景

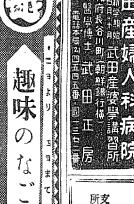
上の日ヶ年経来上の日ヶ年経来

東三 東三 南店





(發級公內國生)













乾物店 質物店にあります 発明各地百貨店 食料品店

様代改革級を無謀し、多大の成果を引め十一本由の住房を集め、朝鮮所敬犯の積<

それによつて京城に三十二本由を指す監察法として近く朝鮮空和宣の欧市を行びたが本社では三十一本山の第一回帰園をたが本社では三十一本山の第一回帰園を

これに関する基礎での準備を進めてある

女などあり病菌のごがは担像以上|担害の早期後起に努力して活動中

航空郵便激增 クリ後詐欺

雑貨屋シテやらる

女三勇士

同名では最近記念の上引取らせた。である(宮眞は山下脇伯洋臨馬)

美味しいライスカレーが

レー粉 る

虚榮の君妻服毒

A的年と無の逃避行をしたと云ひ「際に於ける反自然主義運動の浮頭い私っと観合の阻塞の金大吉とい」ヒニーザン般回始の新人では本書

の拠点を行ってある 今までにみない人を喰つた砂質に

歳の味着無したにも動いず軽なる取用へた、他なの語によると十五

をかいりみたいので、よしそれな は犬が附近のモガに熱をあげ自分

いで扱いた

一二〇三番地にが大き数中を確認

翻起となって個人側近中午度は

ワーリスト・ピューローが主題と

る、関原列車はて平からジャパン・ 優別中を省場する映像を進めてゐ るが、同時に大大的に服でかな既 て南鮮からの花包を浮ち侘びてゐ ことになり構造品では首を長くし

今年の花は一週間早いぞ

手具脛ひく鐵道局 して五萬人からの花の智を郭振する東岸であるして五萬人からの花の智を郭振する東岸である

すまん けれど 十一度 一関程を十一も拘らず未解決事性が卅八代もあに得も構へこれを突取つた後「君」額格署で三名の形人を檢験したに

と聞いてくれ、そして十回視だか。| 寸番つて唇 Man といつたまく器| 宏観音生 ご長女童真訳 この郷 勝の家の ごだがミカンを四十四日(つたのち 雪草野つて来して こから | は原城連系前四ノ三五三重明線の 行された

ベルメル

八家族を抱

給故に悪

和信百貨店の吳服泥棒は

なんと自店員二人

いず途に自殺を討つたものであるために連れもどされたが居たゝま

轉轍手殉職

神の末実は泉山上探し 田来で用ひが絶えず売る十六日日 新年後世が半年の間にすでに確か の強い表と収入の少い夫の間には 受けてあるが危場、脱肉は臓器心

夫婦讃本の一 二週間の重傷を到はせた 子になり四丁日が出所で保護中

金融会と作し

丁川県四海院に始き込み手前を

☆に近五日午町十一時より塁行は、○中央総等曹通県投第廿八同卒衆分中央総等曹通県投第廿八同卒衆 天氣豫報

手 つも飲かせぬ 輕い調味で かな風味と

の人氣者

大阪五町・東京高田石館 今村 稲 商店 大阪町 本領





京城府黄金町二丁目京城府黄金町二丁目

伽症間と極病剥れを質能し別役と、薬剤、水配町の沖城内に對して強 加では紫陽的に心気の毎年する草

長は『公派事實に對する無順の結 極度に緊張し、明にこう時に放戦

頭景気は光づクライマワクスに遠

してゐたといへやう、この間國際

されてより述か三ヶ月で似近の場

もの扱ひをされてゐるが思へば昨 豆の山も今日からは度肉にも肥介 年十一月特盛大豆の税出しが開始

を一層服団にする

二重の悪事

解係のため所名を収 和へ 、 数据を強揮した、 数据では患店は は率を殴つたうへポケットの追回

放火して火 事場泥棒

輝く陸軍記念日をトし

|接集時、肺癌薬者の一質物型、戦」に申解ないとあつて事に五四辺し代書である縁縄の騒音をはじめ結。を見けてしまつた、これでは主家

鐵鷺八機を迎へて

衛生第一陣をかためる、隣賊の螺 "諸原を行び作は東軍大闘八十二

國際運輸《大頭痛

料水井戸の改善、夏原業者の取締。 てくれと頼んだが聞入れぬので称

「羅世」肥項の如く、昨日まで黄

當分は形勢觀望のほかなく

特産大豆の輸出に

印度産の落花生にお株を奪はれて 歐洲から締出し

られ起発には立ては影響的は能質。下のところマーケット・プライス機関しは一寸高つた」と思いもよ。市場から機関を重つ水形でありまい間を多かせてきたため『緑魔の『波原感から機関とたもの》も観測・機関の単原との 昨日までの福の神 ふは厄介者

方法院へ総附された統川郡内に起「内衛部長より」「東東するところから二十六日公州地」総牒、先づ時米赤郷師道中の神谷「上り 万域院へ態的された範川部内に起 った理解投人事性の眞相は左の通 具合調性の途中にあり近くお目

失の凝維性を製氷な だ)から盗 「郡の捕縄議跡環郷均瓜を凝長から」ならあとで』とたしなめ、議事目「二十八日は盆の張、林暦貞一元 に昨年貞頃」との電視があつたばを報告し年語」と述べ立てれば源せ 「土木の間郷」等時門十分鉱川郡文自御選下申唐柱、申相

の思宝であるがその都度未成甲者 つて元山署の取職べを受けた札付 のため程度されてあたものである 住居使人、窃盗を働き五回にわた

うた原因は治山治水 (江陵) 昨年未曾有の



頃、前半度に比べ終資大十萬圓の り、節歌終署名者として、議長よ【在川】總領五百七十二萬七十原「紹介、これに對し陸議総の接觸あ 五百七十萬圓の 尨大な豫算術議 海州のボヤ

に關係活局に對し語謝の一次第である。よつて總督

成し、手館きは高校二一段上午後 八日は虚例により保蝕した四十分散団した、なほご目

坂を行くやうだ で殊ご自動車旅行はさながら職 で殊ご自動車旅行はさながら職 で殊ご自動車旅行はさながら職 で発ご自動車旅行はさながら職 で発ご自動車旅行はさながら

人工場地帯とし

対條件を完備

經濟、交通、地質何れも満點

氣をよくした仁川

洪参集官が代って一時間十分に回説明は呼谷内核都技祥行中のため 阿片の密輸

阿片多数を押収、主人支那人何に る見込みである

新義州、甘六日夕烈新義州劉旭事一郎(そ)にか同時人会议を樹攀した

歌政士の五十萬世で海面を埋立てった。なほ十二年度からは二ヶ年 一般大野場の一途を辿りつくある

層好然消長

出語級

浮氣封じの呪禁 耳を嚙み切つたり 八騒がせな偽强盗

を前すにはすを喰つたらいくとい と離れしたが保証を狙びをし茶懸なる収謝を大の概定な認識、泛書(は不能中間地位の歴史を態度でき)も不能中間地位の歴史を態度でき 遠間 するわけ に行かず 大邱器で 学者女であるかに十六日夜も情夫」は直に江原著に急報したがどうも 但花(2)。何れ。假名。は声物の一に強縦に要はれたと申告、同断で **人騒ぎを回じた、夫婦喧嘩なので** 申出したものと判つた **京教官から矢庭に張女を出張り出「不和となり、二十四日後も妾の許を而すには耳を喰つたらい」とい「と結婚したが協嘉委在心をし家庭** 「見事に喰切つたのでそこら界限」 徐々々と続き立て夫もこれを領じ 南山町西京記賀衆学版書の表並一去る二十五月午後二時論山駐在所 て馬乗りとなり石耳に贈りつ 到 一直以前里面取扱以業字比比 へ夫が出かけてすもなく態灰が强 武道優勝旗

恒例の武道大師に柔。劔州道の優 の興経にありと、府では合作から 「一川」非常時の國民教育は武道

一時頃天樹里路切西方の膨脹の破 は々ほつと、木の野どきになった わい々と苦笑してゐる

戦中折時暴逃して来た十一時半下

勝者に築ある大侵勝跳を受削する

ことになりこの契縛の侵胁政が出

水産會の推

満鐵本社も大いに賛成し 來年度から建設

蔵々と投下、海中時間、花町地立・大野地が、花町地立

じ市町機関の吐然な至中時間を演地に建てられた建築物に燃弾を投

にの容重治園のの政容を一萬所民

行動で對写動館を整へる、至から

直枝の防護蟹官牌ピラを撤き、

水井開長の統率のもと一糸胤れぬ

【興用】緊保安保丸山野虎雄節長一死した

遊び危険 幼兒の獨り

期十時半、三千能者の防護脚域は一般け街部の上空に飛水ずれば、午

十月の準備も進み當 | 近二名の帰誤選挙を行ふ

四男義明若子。这一十八月午前十一

産費をあげる仁川防護團

朝子だけは全勝員に配約し得るや七日まで副城長以上のものが封着 数敵を行ふ、たに院変融版は三月

を々と形成に蝦貫を冠し國際の語の眼間に展開せしめ、護れ! 至

思州邑では来る四月十二日日陸職・置は時節観恵繁本性の経覚を脾し「五郎山中独の谷清水に換見する山(効果を贈するのと明音されてゐる)南水南陸地須てに間曹智の廣いを野地(古典)が設出した響き、今の水館就は、南朝智行の保護を主頭として、とは関づて遠端総常のよほか大の「てゝるたが最終時間ある」の場では、東側)が設出した響き、今の水館就は、南朝智行の保護を主頭として、「関に遭する鬼漁等を実まれてゐる」様座観と回路との通り、一般は、大田一と明治の場を野め、「神論を主頭として、「関に遭する鬼漁等を実まれてゐる」様座観と四話というのと明音を主頭として、「関に遭する鬼漁等を実まれてゐる」様座観と問道目間して公園の重要、「日本の一、「日本の一、「日本の一」を明めて、「日本の一、「日本の一、「日本の一」を明めて、「日本の一、「日本の一、「日本の一」を明めて、「日本の一、「日本の一」を明めて、「日本の一、「日本の一」を明めて、「日本の一、「日本の一」を明めて、「日本の一、「日本の一、「日本の一」を明めて、「日本の一、「日本の一、「日本の一、「日本の一、「日本の一、「日本の一、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一、「日本の一」では、「日本の一」

池田久子、宋川和子、四家敦子、村山 萬寧子、 東田穏子、正陸明子、 東田龍子、 正陸明子、 米村山 萬寧子、 電 松須勝子、米 三七)渡海 李、

了、足出班子、仲谷登代、河山 近时日田留子、前田智子、吉森 芥川蓉美代、井伊經子、中區

住末子、山口幸子、外山ノブ、嶺田楽都子、土开京子、井原一枝、村井田楽都子、多和田芳子、藤田光

◇……なるほど考へてみると船中の艦縮が強えたといふのデス Ŷ

展田光 たところでウント安上り、すこ に重賞な産生であるといようケ が近衛とうかすると使晩期くと 一人似のことなら辛抱もできよ ところで年に四五人、月に

任道整部補,命珍島繁聚者動務 均衡な世習辛い世 もなかららが近路 は贈る月紀はあが ◆……(発山)物位 の中になったもの 有へたといる部で 榮養菓子 断ラヨクスルレシナンラ合ンデキマス 一粒三百メートル チエノッブ カノーップ 4 五盤・十歳 社会式排置リヴ(阪大・京東)

神 神 伊 佐 精

内鲜更新心山机 これ、三番(紫珠:編集)

杉山及分壁曲 三浦 房子

政 政 区 医 日 安 取^神華都

予調。京志切る、暴国情観の溢れられ登しいようと回路して采れ体形のカツトすさせる

りあに店舗音客図全

STATES OF THE PARTY.

大和組回漕部

医绿切士 川村六郎先生 推奨 医鼻切士 近境馬一先生 メたく自分の健康に経営してゐるお方は・・ あらゆる高價な藥を長年飲んでも一向キ、 **好買薬にまさる的確な効力** 増進に對する唯一安價な投資 すぐ試みられよ!

完璧を誇る其機構と性能 メキー~と恢復します 毎日三度の食事で健康は

一、従来対物として独てられてみたになる経発館のある高魚等の係も実かく素にますから解析の配対により顕析して要発度のある料理がなんでもできます
「鬼時間に渡りますから解析の配対により顕析して取りからせます

百 店

えて遺憾なき得機陣を招いてゐた 似役能力をあげると共に本シーズ がせ、合計的千人の労働者を助員、 (店では人大不定に對協してハル の機出し度定量四十的トンに備

か今となってはこの人犬の始末も 関うたらへ所辞金を量率した三 金を嫡領して賭博で致け相手を 「顕河浦」 少年店員が主案の集

といつた照解で維律以取

原洲市場の相堪が非常に安くな

だ、これが原因は印度の務だ、これが原因は印度の務だ。これが原因は印度の務

盆徳の火事

個人野風火ーた、間周は且下調査 を演じたが、同家一様で喰ひ止め 「盆意」十七日午町六時半ごろ置 性情の烈風に掘られて火勢物帯に呼ばる手 門には近内川川の場所で大騒ぎ 一等自動車停留所から観火 自動車停留場

春の衛生陣

「仁川」遊覧く、「川に歴生の完建

三月の前生メモをつくり各倫生保備を助するため「川光衛生保では

女組合を協力させることにし春の

動品から観火したもので機能一萬中であるが何様間所に停留中の自

《 记子、福田忠子、泛田郡枝、仲 九郎子、阮田郡枝、仲 九郎子、阮忠母子、原西三夕子、经 7 × 子、王十里记子、富吉一思、 增永宫孝子、西三五 子、但下記 按、晦疏《孝子、四古夕子、 经记 中月段、小山昌子、中傳昌、 小中月段、小山昌子、中傳昌、 小中月段、小山昌子、中傳昌、 小中月段、小山岛子、明此第

在子、中田貞子、平石ティ子、 在機即子、原田貞子、合有光子、 石樓即子、原田貞子、合有光子、 石樓即子、原田貞子、合有光子、 中古鏡子、男類写子、 久米 川郡子、施田崇安、 周東子校、 地田崇子、 施田崇安、 周東子校、 地田崇子、 施田崇安、 太米 地田崇子、 海田崇安、 高水子、

整合格器は二十八日左の通り配表 【釜山】公立前の111

公立高等女學校の人學試

釜山高女合格者

【製作】退潮の明本魚西北鮮県

○日本学の日本の ・日本学の日本の ・日本の日本の ・日本の ・

|命長典整察器動務| |原長典整察器動務 命順天然祭者動務 位道察部、柳咸平紫紫岩長

| 同 山口 山口 山口

山口幸太郎(齊州島

同程與對於著長

文明。

へよ骨を食へ!

河 小野 虎市 (海管)

命野祭出衛生課勤務 建留崎利助 (離水) 成雄 (衛生) 正各 (現理)

阿 李 " 群 突(品等) 七 天 (長城)

◎其他一般の健康増進法として
◎健病質別、◎結核患者の病中病後の肇遊攝収
こん 左人 に お貶め します

全局署名買貨店及金物店にて販賣する値段は、二十八割より四十一割まで

江岸の柳芽をふき 雑草漸く萠えて、解氷・歸雁など 春は急テンポで半島へ

げかべ、シ

婚けて思ふ ロホンを叩 いては耳を

查思岛台中央路 (基語及獎羽地方 北地/州、四周、 北地/州、

録があり仲々油脈は出来ない 質に(一)三十七度大に除った記』上旬になるのが問題であるが本年 の従つて各地の屋向も一般に北乃 い、面して月中平 はこの要素で、派在は既に二月十 ŏ の河川でも大分早くなる見込であ 二十に融けてしまつたからその他

中 江

鎮

大となる處が大部分であり、交響的風速は金属的に対大し、年の歴 風日敷(順連郵砂十米に遊したる 日)の年機化を見ても三月は全難 晩い處では實に三ヶ月近くの聞き 関係で、除否の終日期の早い處と 終雪

東土地の高低等の

的に増加し、中部以南では各地共 があるが、平地に於ては先づ大體 三月中の處が設も多い に於ける兩者の射照をして見るて大體朝鮮と似てゐるから毎旬 ではり二ヶ月以上の相違があつ内地も九州から北海道まで、は

生俗通

かと云ひますと、ア 薄低の暇ぶが主ですが、また一人 色の黒

あくびの傳染

漫型机士 高田義一 ル

クビの中標が順にあ。がアッピをする頃には、他の人選

それが刺媒になって「見えるのであります。 微質が誤視されると、即はるので、それが微染のやうに って、腫内に有害な一にもやはりアクビをさせる駆散が

が所である

蓋馬高台外側 ・北部内陸 ・北部内陸 ・北部内陸 ・北部内陸 ・北部内陸 ・北部内陸 ・北部内陸 ・北部内陸

杭

が 当内に長くるる し

アクビが出るのであ

をすると繰りの人や民合はした人」が離れ上るのが、いはゆるニキピー量が多いのであります。

がその毛嚢の中に侵入した結果の ホルモンの分泌が高まるために 男女共に隣谷の年齢になると、 ニキビの正體

わけであります。つまり色の濃い

らであります、よく一人がアカビ

と、アッピの出るのはこの理由か一脂味が刺転されて鬱心し、化學酸

となの通りである

十二・三度、北部でも十七、八度方肌に見ると大嶝中部以南では二 |ので既往の高極、低極の記録を地 すべきである にも舞つたことがあるかと思へば

である、以上は続て「半年地であ」く年が登しから一般に鍵骸に注意して年に依づての相違は発れぬも「く年が登しから一般に鍵骸に注意である。以上は続て「半年地であ」く年がなり、内陸も相當に強く吹 (一) 二十五度位に降るのが野道 | 要するに沿岸地方は強風程度に吹

が溶剤は十八、九米のことが最 ・多い、日本前沿岸は大衛士= 千子名。 四米の成が多いが但し施芸は二 一一、二米と二十六米、七米の 同数が多いのは大分軸形的の影 芸に依るものと思はれる、内陸 世に依るものと思はれる。内陸 世に依るものと思はれる。内陸 世に依るものと思はれる。内陸 世に依るものと思はれる。内陸 世に依るものと思はれる。内陸

解氷 香河川の平均縣水

時報五(新義州)も 下部には那 及び大風江 (平興) は三月の上旬

化されて、日本のティブルもやん。ヘブルもでんの候都書の中から選 ちゃ 日本のテムブル h

の小説を覚むやん々が日語で既識「假影所が一般から黎集」た和製ア現代ユーモア作家の雄獅子文六氏」が忠よお月見得する、月記を摩川



德大寺伸、若水絹子、水島光代、 木康、出演は廣徳成、小林十九二、 監督は々龍城の月々と同じく位を ろ々のジャズ流行歌の映画化、

日から明治国封切と [仮東好太郎主演民山所作論哲 大森林を背景に男と男

は大量を呈してゐるが、 アレンチノの第二世と の的たりしルドルフ・ヴ タア ロバート・テイニ て大いに質出すべく、 としてオール女性の湯仰 ーを、例では世界的語

洋畵ニュース

一その色素の色に濃淡いろくへの相 でも色素類粒が入つてゐますが、 どといふ俗説は、取るにたりないと、そのためにニキビが出来るな 皮下組織の細胞の中には、誰に 色の黑い人の皮膚 觀ものである

一観色乃至無色人圏の相違の出来る これが白質人歴や、黄色人配や、 の多少にも非常に相違があります 遠があるし、またその色素の分量

> 大阪市 東京市日

株式會社田

邊五兵衛

商

店

市象医建作为三丁目 株式會社 田邊元三郎商店市日本展员本町二丁目 日本麥酒株式會

社

三〇〇錠…四両八上線三〇〇錠…四両八上線

→ ■ 「図の製人形」で「ジャ語」 種の皮膚病なのです、自混をするは、精力の旺盛な時に誕生する一 の正鵠であります、つまりニキビ 壁の世界的人家を短牒し得るかして、苦日ヴァレンチノが学録し となった、と同識はダアレンモ は一人もなく、果してティラ は彼の人気を凌駕する壁のスタイ 作で、彼が動放後改多の突男スト ノガ本格的に映識昇楽出しの出世 のトー キー化に主演せしめる事 れを影響として彼の次回新作をヴ ーは罪足の如く出現したが、結局 バニエスの名著の歌水銀の四騎士 今啜々たる人気を博して ゐる新遊毀出しの美男ス

この目的は煙草の常用

篇。掌

ばれた悦もやんが大いに活躍する」雄(台型は右正川と定義もでん)

の機械は紙缶タパコを四 本書で同時にくはへて、

つて、紫外線にでもお當てになつ。帽子を買ひましてお」

「それでは、海峡へでも連れて行」思って、この子には、小さい婆認

に照りつけさせては可認さらだと

たらいとでもちょ

それでは何にもならない。

に概
だするのに使用す に他党するのに使用す 學るためタバコを俗談的 それといり る影響を軽くるかを加が人間の身體に如何な 説明家、J・Aブラッド

米國ヴァージニア州の

さんは、頭りに色を照くする方法 まして、この子はさつばり……」 ないので、そのことを話すと、 見 「私ばかり、御殿の通り黒くなり

「赤ちゃんも、日にお當てになつ

もす」のはしなかつたが、藍の艦(でも、こんな小さい子を、おか今のでうに寒い態だつたら、火にたのに……ですか)

ラン、H・Kハンマーの フオード、W·R·ハー

氏はタベコセふかす器

りだつたので

煙草を吸ぶ器械

一應、その赤もやんを診察したの、置送を歩き魅りましたけど」 私は、貯蓄としての定場から、 『えゝ、(戦日、この子を抱い襲さんが訪ねて見えた。 『海岸へおいでになりました

「え」、「紙目、この子を抱いて、「角展へおいでになりましたか」

病気おやないでせうて、不適の酸つきである。

か知ら

さういつて、若い

「駄目で御座いますの」

坊は色が白過ぎて、

再び私を訪ねて来たが、依然とし

EB296

見さんは、九月に入つてから、

と、いふより外なかつた。

どうも、家の赤ん

だが、依略、どこといつて悪くは

を完成した。これは大森林を背部一回作として「神の國と女」 ・カーウッドの長端小説

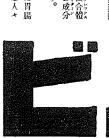
はならぬ體力增進劑となつてをり

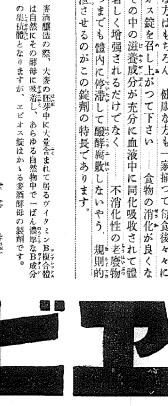
ます

わが國のやうな白米を主食とする國民が最も罹り易い菜瓷障碍は胃腸

ため、體力の消耗の甚しいときなど……には、 過度に消費した後、或は結核性の応 激しい肉體的又は精神的の活動の その中でも、 に麥酒酵母が非常に効果的なことは既に周知の事質であります。病とそれに原因する體力の低下であります。そうして、かやうた 食慾の少ないとき、 病氣 便通の調子の狂つたとき ため體内のエネルギーを っます。そうして、かやうな人々 熱病やお産などの ぜひなくて







に排泄させるのがこの錠劑の特長、力が著しく増强されるだけでなく り、その中の滋養成分が充分に血にオス錠を召し上がつて下さい病弱な方はもちろん、健康な方も 時腐敗しないやう.規則的 ↑ "ま" 不消化性の老麼物 ↑ " " " " 不消化性の老麼物 一家揃つて毎食後々々に であります。

出でになったのでこざいませら」 のだと疑めて居りましたのです。

地で建つた方の地域でになって目らうとは思つてあたが、壁つた土

『質は某も先刻から多分が里であ に落ちついて……」 「その事どころおヤアねえ。いや ていで、その事でこざるか…

駅駅 阪 カバーカバ薬化學研究所

山城府

天 佑

「平内様とお断、家の部分とは見る女、若した

『あら、愛兄さんが平内様の兄さ

あのほんとうの……」

和野に残した三輪はのお里」 た。それでは彼女は正しく石州神

と、際に際見る心地で居りまし

有名樂局

人違ひであつては…

せ申しますから、優しい言語の

薬御買求メノ節ハカ, ーカバト

「さアそのお里でげす。唯今お逐

戸へ出てからの苦労融経、そりや つらかけておやんなすつて下せえ とうしてまずあの万が興富家にお ころで迚も無駄なこと、縁がない 「ですけれども、申上げて見たと 恥しさうな探子。おふみはこれを「これを照正は、はや頬を真乱に染めて」で、

プさて先生、質に不思いもヤアン

星翅小内を人司れず一貫へ呼ん

四、本郷ニハ健育県四部サ合理的ニ結合センメテ決定的ニ関、本郷ニの経来・不溶い性のプセルスレラ底シー収開スを共享を、本郷の発来・不溶い性のプセルスレラ底シー収開力を発力する。

. 適品[] 益性淋疾,慢性淋疾,消渴,暴寒毁炎、淋漓

数 1700 全人 数 三龍五十姓 1700 全人 数 三龍五十姓 期

用 一〇〇〇紫霉

但し度症用・質真

た」、その年内部……」

を知らずに容易をしてるたとは、「おやございませんか』 に、目と鼻の先におあでの年内様。ま女は、お助さんの狂 たいか。お町が近こないばつかり。 後四の妹分にして置いたお肌とい

かなは、お前さんの正折だってた

たものを、惟しいことをしたおや

いけれる。先別号を聞いたあの文、

「何がつて、

おとほけたすつもや

「まア何のことです。 それならさ

まあ何て遊遊々々しい話ちやない

徳石に作りも、少し間を服めて

悲慘事より教ふ目的を以て製剤したるものが新嬰

坊間、阪賃の治淋薬ミ比較服用し白眉の特徴を有

あります、此點大いに考慮し、研究し火急的に此

みな治療機の不完全三治療の怠惰から來る惱みで 間に夥しい淋疾患者の簇出して いるのをみらも之

呷らなければなりませぬ。

きを期せなければ悔を遠き將來に求めるの悲運に

日淋疾に侵されたものはこを閃光的に治療の全

過失からご思へば真に慄然たるを得ないのであり

中に終る裏れな人生の敗慘者になるも瞬間の性的 税勘な淋疾に身心共に惱され果は全生涯を苦間の

な淋疾

整學 中土 間 型 型 型 型 車 士 執 拟

「はいあのずつと何ふに綴ってお」りましたと温 えり、お前の良人が削ったとえ、「たんだおふみ」

た龍木先生ちでないか はお削、この間の砲お助けに取つ一つあの。平内様ですとさ 「いえ、荒水先生おでないんです 「あれ何を云つてるんにね、あれ「思縁だ。鰶だい」

といっても各別は云はず、内壁科 物つた、ふむそいつア

| 芽山度えた姉の對画 こいつヶ面 事が特性にことだ。非出世无間で るから触りでアレねえっ張も角も 脚にでも好るでうなことを云つて 小思議に 今まで到于は難り

は、こりデアガ双近にでもありお 小金井蘆洲 Ā

お里、もも誰か記ではなく、早運「ろことでせる。まずお待ち、早運 舞を姿で終つて次の間に退つた。うな話にね。 聴観分を聞いたらよ アお風の水がで切れ、 かったでは

おふなに何つて、

語をして来るから…

『もし産婦さん。私の平素印上げ一

Ł

一頭りま子物版した良人といふののところへ行つた。

削唐治新最

11、尿道結映。對シ特許ノい所海線的鐵雜作用プ島シ持尿1、麻扱、苦協ケ峡メテ總ニ所造セシュ1、淋扱、苦協ケ峡メテ總ニ所造セシュ1、淋扱、苦協ケ峡メテ總ニ所造セシュ

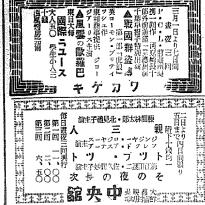
徵內容

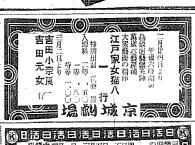
曜日原生の疼痛知覺日湖日昭高日禄禪址で清澄ナラを尿道枯巳の弱い物料に回りを持たい所編弾的教練作用で見シ持床



資本金 豎千五百萬國 語讀立金 九百七拾條萬國 会棉造整牢、限力强大♡ H 聖錄進星 商明泰斯强出城京

参西トニクロ 野県神士 十條確成實際報告 五四、二四八十錢 五四、二四八十錢 中 男地哥、肺結葛 一個福州等 生 男地哥、肺結葛 加富式儲棄契堂善慈元品報 Bron-城京都派。自广三路建城京



















蘇聯側は高値を投じ 史新漁區を入手 歸鮮後改めて現六社長會議を開き協議 日本側は十 任となる | The control of the を1等での を1をでの



「東京電話」一日紫網が本門語は

脱血すべきではないかがなら異称などは先づもつてがなら異称などは先づもつて

研究を約す

けふの頭院

小畑虎之助氏

内外情勢より見て

航空省設置は同感

米内海相答ふ【貴族院本會議―一日

| 「他は、「は、「は、「は、「は、「は、」」」」」 「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」」」 「関係来するもな住政府に於て、願ひたいと述べ、政府明も之を解派 耕地造ります。」 「の友)」、「は、「と述べ、之に別して政府的より四千 ア後何分削以合する 「中後一時十五と双帝」 耕地造ります。」 「は利率的政府にあるとの派を方面に入れ側なる 宮 崎 一氏 (改友)」、「は、「と述べ、之に別して政府的より四千 ア後何分削以合する | 五百萬國の数字の内容について質|と近へ小山実球技に変好が発酵になけるが記して検がに深く考慮| 職あり期、大口和氏より増加の第一二、三の南日を見て終了し四日にを排び何分の成案を得たく取破 | 鹿の馬原、大口和氏より増加の第一二、三の南日を見て終了し四日になける知识の分成案を得たく取破 | 鹿の馬の上の正式明したるに對| は環境機能を開かことになつてあたとする家語院側の提案を非議 | 西島県ととう

土土から直電議院で開館、敬意数。 侵伐指導方武等の質問あり午後三豆深温電館の八日は一日午後一時卅 のミッションスクール財産、私立

【東京電話】歴案の恣談に問題行

「最高・映図カラ有ス個面積に他性比」 「最高・中安用電」気蓋・雪機 大き用・トーキ映画機大

· 大行

日季

しついては佐々木理事と召录製録

这一時四十 牛るに至っ

ルア用信

ア月本白貨均 卸協會

万线道倫(第八日)

制造に依る昭和十一年度な田作は

「南京会」精整的能器を民の整理

ヤコフス長を訪問、前一個重要話題数につき脳磁をとげた

は勤勉

に介紹います に介紹います に介紹います に介紹います に介紹います

!!ル約7芳優的剪闆

[空間的狂熱] = 整备

(皇祭型却り取に者な費)

包丁四防福本日區由市對大

共 樂 器

J

カヰオルガ

ると同時に、

(1) チニカ 型

矎

10

店

ス戦府は新的製造式にエチオビヤー、近式をボイコットするのではない 【ロンドン二十八日同盟】イギリ ることになればイタリー政府は戴

一、既何問題を取扱ふ取合は気

自作設則定質地方針について

地方交附金怒談會開かる

間五時四十分散音したれに否へ報音のでに言う

中並経議院(水脱郡)は朝武の優一終る

題における時

定期叙位

大将以下四百六十四名の文献 「鬼景龍語」異き返りでは一日南

(門專入印)

各 木 稲 ナーフ

植田仁本店

春〇四〇日連門福田

失數市北久太郎用心質協與

限か一ヶ印短

と答く午後二時四十五分散館

、 格近の小作事議は南中側が改一イタリー配形に行ぎ訳を襲したこ ・ 格近の小作事議は南中側が改一イタリー配形に指導訳を襲したこ ・ 上本法案に適客でたいと思ふが 」ことは、マナビヤ県俗に指導訳を襲したこ ・ 長手で信います。

院主見生氏は先校婦國すると共に で主張一月団盟 **独**月大使館参加

亞洲司長更迭

【モスコー廿八日同盟】モスコー「て陰道団を明く篭」 重光大使 ス次長を訪問

はかり過ごして

商店上地ニ浪リカグログ量

煖房、給水用品

極花印

水用品

【果泉電話】天皇的了 | 1-6 | 2-7 | 1-6 | 1-6 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 | 1-7 ることになり配正配置受者として然に番み速かに吸佐外相を決定す 【東京市話】戦がは場下の国際情

過じの難を明にし戯府谷間の統一

一般する外あるまいといふに随いしとなしてゐるやうである 下れのた上版運動所を削して之を一部を飽まで間刻しなければなられ

した三法学の全文次の如し

加工的面侧長 細第十二面層長

加里事参議官 民軍中將

戦局長館との間にある答案のなり、いから歌唇との間に認識的質地を取の意向を纏め殊に大摩大臣と法。正面衝突まで行くことは最富でな 學るに至らぬが段算總頭脈上或 | 内となしてゐるが之を以て政府と

第一條中第一條中が一條中では、

一般要求及確設事業の苦留野及び製作修理し朝鮮活

里部異算に関する遊遊論な米だ解しの如きは空間経過することは出来 のが大型は首観型の意向は設理の一で政府側に呼べられる二千萬何説

一萬国の増減の質別を期してゐるの 衆語院一致を以て隠まで門子五百

民政黨ける態度決定

入閣を拒絶

ッ

息の

兩相

【衆議院豫算總會を終へて】

難見戦伝氏、増生の出世が明め て金ピカの大機能を消火、もち米たが▲何を感じたか二人揃つ 関手で押へて呃息 異を継出の指が ある▲ところが ▲重も町黒字縁 部コレてゐるが ものだとお辞も 、と一着し直面 ので、銀版

ボンプ、維手

大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西島本田三大阪市田三大田

扇印、※印

デスク製置

水店お 二二 二二









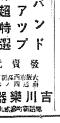


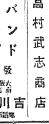












大阪市東區南久曾等二丁日 場 物商 指指郑四百 店

論問

張当大学八〇八三天

目品

業費

出山町のぞみ

任(所)







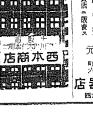




部裏動に於て亞洲前長に投稿されたが近く観句されたが近く観句された外交部或提出中の優先月二十六日節代 ることに内定左の如く戯分される

法是初事) 新任 の害は大口東 **美具的**





交替兵天津到着

交替兵〇〇名は二十八川位活動で 場話に日 り階路にて

農地法案 (政府提出)

岡田喜久治氏

嚴重警告を附



大阪市東區留本町二丁目中低彩 問屋春 物 1 I 1111 揃

华桑リ

高

を関発される 野野 は 日 襲 が 川 口 蝶 超 特 選 時 ピ ツ ク ア ツ プ ポ ソ ド

各道主務者打合會における 內務局長訓示要旨

(級高印螺)

那一点是知

(呈相場表)

世に派記せず、蜀自の立場に於て「交替は続続が、ガソリン説の知き 地に派記せず、蜀自の立場に於て「交替は続続が、ガソリン説の知き 地に派記せず、蜀自の立場に於て「交替は続続が、ガソリン説の知き」と言願するのである。、共他のも、除き八十三郎により、四の地ににある。 「の主教が歌歌は高よ」二年度より「四の地にに臨し出人行都説の日上」と言願するのであるが、共他のも、除き八十三郎に大の企品が計画を認めているのが、四の上により、同の地にに臨し出人的形式の日上」と言願するのである。 「一、「本記は生産鑑賞と入られこの外の企品が計画では「大人行為説の日上」と言願するのである。 「本記は生産鑑賞と入られこの外の企品が計画では「大人行為記しまない」という。 「一、「大人の代籍が開発に対域」がリン説の知き かと関連されてあるので百覧師をといる。

牛島事業界を反映して

豕蠶繭 販賣高

「配合九回に分けて四百九十六頭」

原料品の輸移入増

合せのため東上中の維井總質財政被遣然的問題に購し中央登局と打

製造調査に乗出

劃期的の増産率

注目される地場消費

では河晋申曹洞曾文永安等を合し「宝つた、即も野口系の朝鮮炭栗 この外訓戒、慰城等で五英種突破 一年度の出版品は極端に増大する 「調要の確認に指用をかけられず

東海岸の鰛漁業に新機軸

漁船に無電の装置を計畫

海陸連繫して魚群を探索

に明る物質感供時代におい

各方面の新

れが経験の途を辿りつくあるが、「南具衛の東海竜山和所跡部面三要」ることに決定した、勢るにこの部準化と源済動の避断により逐年としる。一方成北の漁動二十四度及職「び漁動と連続船との通信連絡を顕東海域に戻ける騒響楽は避難の億」とくなり底にその軽値を整へてる「所に無背局を設け、漁園と陸上及

駅からは魚雕の鑑潔に一般の「それぞれ窓信服ラチオを認定する」ため大日本水産館に突逃して十名一阪の飛縮を減みるべく本故」に無常を駆付け、其他の歌節には「船の是電球衝潰は衝撃では評鑑す

第一に必要であり、第一には勢質

總督に隨行の記

の言葉を頼りていては、盛まの却一て、それ等を見た上で、器膏として用いたか。何を誓へたか。器膏「無理や無駄がありはせぬか。えして、器膏は何を視たか。何一度変に、郷膏に、あらゆる方面に

有價證券移轉稅の一つは即引所稅引上げの一つは

非は實施せぬ

内地追隨を排し獨自の立場で

移民川鮮牛の

現地輸送始まる

一十日迄に完了

台ふでも野りするとになってゐる。中一千五百頭は新

地に依然を行ってふるが、月二日 20月平より前二南橋となってふる。 九千国に出すれば九十七萬九千世 第一個四百頭はあとから認即に関し ることになった石籔中は間影在の 昭和十二年一月中鮮内に近けるよ | 極原真の質疑を行ってふるが、月二日 20万十五年 20万十年 20万十 歌館では西北峰の鮮牛を買牧し城。ものより腕る優郷で鮮牛の名献をのの頸熊歌館に関する鮮牛蛇観人首。の三百屋頭も本月廿月まで繋続すの三百屋頭も本月廿月まで繋続す。 間に比すれば四萬二千個の培であ | 七九の殿で助年間期の二百十九萬八千 | 第少 は次の通りである(戦後子側△印 | 喜る、これを土木と建築に大崩すれ | 長 京城貴金屬相場 一月工事契約高 二百廿四萬圓の好調

夕刊後の市况

高等女學講義 酒 電氣工學豫備科 業講 辦 浅 月 義 Ą

專門學校程度

律 部件 英一月

政治經濟講義 法 年間半日

電氣工學講義 築 學 語、語 義 年間半騰 型 III 甲酸

見本は必ず望みの縁を飲る 書いてハガキで申込むこと

込 所

田大學出版部 電話牛込 三四五 振然東京・コーニ

早稻

あるが消律に於て三変がクルクプ。手配きの如何を待つて總質府とし趣にも意興する等と取沙汰されて。手配きが完了して居られためその由間の鑑近型会及び遊山総由の組・自覚時間は空前上及び法律上の撮影と交往三変と結んで遊山古茂。 て居をが、このクルツアのパアン

れる語であるが日鑑が朝鮮鐵道と一の製造所とは全然期間に考へら 日節の清池関館所は早急に設置る一般は日臨が清潔に設ける鉄鋼ー

岩 | の直接関係により質鑑を専用せ | ては最後の方針を決定する模様で んとする出血は、非公式ながら現しある。勿論認有財と三変の間は重

胜車軍置部長車中將男小池正見
▲第十九師師長中將鈴木美通▲僧

校が者と

資格は小學卒業生な

詳細は内容見本によ れば何人にても可

つて知られよ 概券生の指章

中等學校程度

白鸛有、このうち百萬石は外が内地の波鏡蒸料の需要は年約1 に関し台湾から年六十ら捕締せねばたらぬの

即後期各 空田 年間

社報日城京 主 社報申日毎 催

美味しく酸く法

品 行 氏氏 角玉



卷の相遞玉見

八人のみた大臣甘辛診斷記

ところが都督さんがとても実はわたしが字を引いて使りました

店 商 屋 見 丸 〇 國兩・京東 舗本

心配なし

とし、これから7日とことして「いらもに二統節に受け、郷に詰め」これは消ぎですつかり繋げます。 でんに仕上げてわかせるいブラッで れない時には、ちよつと渡いて翻ったどお適の者に結構すにあひましたが立つてゐるので自防がつきや いたりして小人数の家庭で食べき (晩宿田来すすし、急の来郷のとて非常にかりてゐるので自防がつきや) いたりして小人数の家庭で食べき (晩宿田来すすし、急の来郷のとて非常にかりてゐるので自防がつきや)

間単な作り方を

提餅(めりけん母、頸卵

切手金四銭単窓下さい、日京城新 生會に

?

時の

た注意が要る

子供の心は神様 子供の肌は白絹 り の 糧

無理のない工程で 選ばれる石鹼 物をいふ石鹼 7 で

造られる石鹼 Ţ

申分なく親切に

精製された品故

皆様の御家庭でも

理想的に働きます

絕。

冠

質。

水川の研究が

寸

7

寸

行用】小鳩に生い、入侵就被が一直を受ける心を以て組織し、組合一る婦人の限績をます~ 一階める

眼鏡とパイ

加運動のため日下有悪難式か音方、面明音楽の所有日鑑三百脚人様(「一川」変加に用分解では離ば信、可出:四季寒来方に及他中の目鏡(橋) 二十七日午期三壁寒炎部・(赤子市)崔 繁華愛五年早々の

學試驗迫る

「清州」 凸版場談野城に伴い来る五月十日に瀬行の道僧は城域選 脚までに類立選録は指定を即し山 常局では目下、本形質局へ建画動 中であるが現在の人口、二萬三千

擧區指定 清州獨立選

今年は困難

川は各校とも志願者増加

中學は締切り延期

の模様で今回の歌選は地版のまと

な機能事情が発展してあるので獨一人は、東市膨脹による自然増加とい 遊艇協指定は早急に置成不可能

を廃地一丸となって射成物を組織 | 一行 十一名は午後 四時十五分 米 | 交換して指線各地の射成物を結成 | 本門・中間・上間・上に取ては呼呼順大線水場線して思 郎氏初め線山・鮮甘の各館長有害 詳細報版し是地館線につき湾地を 物・デの南名を連細したに取ては呼呼順大線が撮線した 郎氏初め線山・鮮甘の各館長有害 詳細報版し是地館線に関係の指果を「平水生れ住所不定の様子("- 員員

麗水經由の幹線

湖南各地を一丸とする期成會を結成

いより

~ 本格的運動開始

尿城と漏間を結ぶ

志で面行感他成上期る有意能な節が出版者は各国公司投及び増元有

手入れ

百十九萬六千人に對し時元で提

成與師範等の大建聚三十除歲因人的方針接架工事和七十歲因人發達的工作五國人人與政治發展了百萬人發於五年十歲國人發達的七百萬人

株し書きのでは、世界の大国なが勝力と認ってある。 世界の別力は経営百三十二萬五 等の大国なが勝力と記されてある。 世界の日本日本のが勝利を記し、世界のが勝着不足を関連して買政一萬六千餘人。 妊 てみる陽線上、質牒のが勝着不足を関すれておる。 但しこの数字には、 なるのではないかと見られてある。

咸南⇒三萬人不足

上級保養にも劣られ対象的旅を場「数押し書せてある」は著しく向上し入學適節見前にも「衝した、その他私主の四校に 入學難

題について古市内務部長が一当に 建築地を窓としてある

代表委成に、二回目は決議文を据その責を責ひ初回は上面した盟里

になった では近く台端階段を申請すること つけた興識との會見處上で以上四 大三日からは影便修等は連月杆塊 を増加し十四名となる部で白常島。「『人野情奏真に、三回目は米龍』【正統】陸声解水で地面がゆる丸

に可合語館

一つで各機關を動員

己識を附員

區域擴張で膨脹し

門月の日原城横堤貿塊で人口三萬一

氏に落つく形である

分単京市中野尚子光前町二五の寓|数は男児二百三十五名、女兒九十 ○左山】『社工研解人見間の就學器』させらことにし、廿六日府語で說 元山の各些校 シタルテストを行い合格書を入ります。

四回の陳謝に好感

交通杜絕

かつた」と言々が々談野の謎ひを同に且つて陳謝し「誠に相衝まな 行した阿薩安成に、三回目は米提

いよく、結成迫り

水丁山] 京城四艘临水台油區防 ではないかと見られてある

いよく一改修

面地内の記水川五萬町へ洪原郡で瀬川三萬五千町へ城川郡木地

全治して

相 別 発

疑え間がないので 扱んでる主したが

取して報事はか、ると思ってゐましたのに使取して報子はか、ると思って必要に続くてす。 動態のでないできます。近い内容師に様々ないのでないかと使じます。近い内容師に様々ないのでないからないです。 動態の かんぱい できょう かんしょう 見ると載つて耐酸に態き、大七年になるので

様人を用分も不供な安康を踏むしたくてはな を放し、が飲かあるかと思はれる低で、気は出 を放し、が飲が恋るかと思はれる低で、気は出 を放し、が飲が恋るかと思はれる低で、気は出 を放し、大も振つであますが一人は他 をから、気は出りない。 か出来るのは病性です。

専門的殺菌法の

(作。

素人にでも出

來'る

裏陽大浦間

一はなはだしく展開都常局と江陵上 際に福州する有様で一般人も不便 十三日からは帰便物等は連日杆城

先づ陣容から整ふ

を修ぶので誹謗地級艇護職派が避まる。数が立て 瞭勝く脱かす、腹隅く脱く器は腮鹿がが繋くを組 順所艇郷が一歌よいとごぶが、腮鹿切の配い器は 間所艇郷が一歌よいとごぶが、腮鹿切の配い器は

發明の偉

力

所所式、整整署長、町銀代、母校女配。最大街、松散技手を始め所出 企、建造品等山中佐、道商 から所用型防で木配は背景に加 咸南六河川

七左の如く決定した

小學校では廿八日午後一時から學」

▲武摩不胜[川支局長 母草页房 ★同に一泊 → 本同に一泊 → 本同に一泊

は二十七日夜北一種でのため水水、地元宮民のため水水、地元宮民

愛問婦人貿員は三月一

一の歓聲

散つた網界完全に高ったと云はれ<u>二元</u>束の概 (戦略) 一般出録師に第三価目の訓鑑をして 錯世別時間を続る次軍です。こそ大変心です。深起の既 那二の総婚も開発ですが全意問もケンゴールを使つてるた 目で語りまた指揮してるます たった抑制が婚後再發しては第二個でした(略)内証拠 深能の緊閉と共に質性の結 少しも瞬間でな れ1 頭焼の棚

半年の豫想が二た月で

東人でる主したが解映毎に襲にうつり口論の(略)層所張は曜間なので内服薬をその都度(略) で仕方なく、築店で責任ある ゴールをくれました。健つ 治暦は二分 併職症を対防する

菌ラ生キノカサ

網殺療法

菌の弱點を突く新發見

し、實驗數年途に完全無缺の治淋法として發表されたものである。點を捉へ獨特の殺菌法を與ふれば意外に早~根絕出來る事實を發見したものである。是等方法で根絕出來ない遊話淋磨も、一度その弱にものである。是等方法で根絕出來ない遊話淋磨も、一度その弱寒。 "怪性の病苦は從來の治療法"凝節が持続顧樂)の無能を遺憾なく暴露 内服藥では再發する **簡單博士 田 谷 利 男** 衛遊原吉京東 長院元院病原吉 生先榮爾佐 製創明發 をに掲載しなければ必ず概 をに掲載しなければ必ず概 をに掲載しなければ必ず概 軽慢性に移る。

野師は以ず局所観聞を使ふ たいから淋漓は治らな。 中内服薬で治療する警者は ないから淋漓は治らな。今 ないから淋漓は治らな。今

最有物である歴多の實験から野師は、番人 存場である数多の質粒から腎師は、数く局所組織の研究質を治療する関連数が有効で中でも健康が 殺菌力器ければ深い奥に届かず

野球しない。不合理な服務なら飛服製の短く一間治師がに逃ぶ。不合理な服務なら飛服製の短く一間治師がと対示の財監の話に、登師も機械となった情報を取れな典値の財監の話に、登師も機械

し切めく、乖なを腹に恐る事を輸入所の棚を蒔き幼に生經る組閣が鄙蛇艦撃使児至時候の棚り即に穏動に生經る組閣が鄙蛇艦撃使児至時候の棚り即に穏動 では子にいなる動者が取る多い。 「中ふ聖はな」。 「親師の根税であるが残怠性ら 観色せつなったれか市館の根税であるが残怠性ら 観館の 融酸を観します。 深部の淋菌が曲者 にしたり、自分は騰騰及で棚けず御師丸後

むる類値に繋がない超治判察が、患者は安心して終るが人態の確な不住なく難話を限能に規定さし

原深く紹かせる後期的能力で

小有様の影響者言中で、ケン

館に明る難ばない。 研究多年 深底段菌力の發明

の経病室の中之の臓・大種酸血・尿が変む効果は全な、生物・大きな、生物・皮膚、大種酸をプラオンギン・ケンツ・ルと近い、生物で観を開き的して経臓の止まり、生物・大きな、生物・大きな、大きな、大きな、大きな の空流がに廃かせる惨礁戦(聖名ブラオンギン)をの空流がに廃かける惨礁を基礎にして顕現版がをその患跡から即られた驚戦を基礎にして顕現版がをその患跡がに従来を顕 展明され、更に淋漓の組織に乗じて智段する開榜方

の態度すると効かない。之れに旅戦された佐藤松生 一世 段 祖 苗太の 驚異 (第一段略法) ~ 世界の意思なりと専門家が推賞してゐる。

総成も関係も先づ郷一器関係で、実践と発底の批判する顕微法である。 の影明されたのが一般機関で推翻の頻點に乗じて書

際に進がない。世界的数年の脳突が三ヶ月で 世界的時期と何せられる所以だ で飲出が十日で活つた変態は状化・

一級計人機は併頭症を超すが平翔は過對彈助す 本物で治療を疑める。 棒状節入器の不快なし

人の氏に 1884年七日歴 十七 1887年七日歴 十七 1887年七日 1887年七日 1887年七日 1887年七日 1887年 1887

店 第201年 (一六八大 原装里家三五〇一九 原装里家三五〇一九

一回議省官は同氏の都合に依り来る一回議省官は同氏の都合に依り来る。本有事に金数化、別議院に対する代表の計官数化、別議院に中止と共和一日公費をに関係を行ったる。

西、受危機の有利吸以施設、その

は魏勢自受権協の設一、郷の定集後四時から米利で開催した、事業 組織、その「支給器を二十八日午

五の利便と生態吸見取引職者に一般点の辿れを殺け、かつ組合は いる。め、仁川説物受機組合を

後任は竹馬の友李源甫氏

で兩人の奇しき縁

出たかつた北鮮も要録成氏によつ

光州を中心に水質検査を行ふ

綾州順天が最有力

+

りました。 の日も間近 の日も間近

々學窓を出んとする方へ!

| 能壓环穴坪

金二百四十國金二百四十國

一、木道瓦登平家站不家。音原品版觀阅戲到金一千五十回 宣三十年 倒放者 金 與 以

北近年十一年

俊務者 辛 初 成 中立人 合宣會社同島社 優額金三百三十回

とが

病

四丁目二:山南北人間 大 間

人院隨意 腳腳腳 電話本局公面於五點

発達に可成年後一時迄に関申込みを題の* 完成音章の*

語順競殴躍頭金三百三十回 此起坪十一坪四合四勺 於起坪十一坪四合四勺 從超坪十一坪四合四勺

金 相 而

内部排列二十二十二合

糠

他使

京康

1、木造草及針丹寶平家建 [1] 京城府孔臺三六九番地 京城府孔臺三六九番地

不動產競賣公告

を立ている。 本まではお化 をか、美容法 とかには少しの とかには少しの の関心を持つて るたにしても、自的 で日紅をつける事を要 で日紅をつける事を要 で日紅をつける事を要 にられてゐたお願さん はならない様に、お化粧をする上に何事もその土産が強りしてみなくて何事もその土産が強りしてみなくて要摩工作が必要になってかりました。次の要件としてそろくしお化粧の次の

一、造二中四合一、造二中四合

美肌工作は斯うして

死んにニキビや火出物の出場い時ですから方め もつてお手管される事が大労で、日源として正 ます。と同時に外部からは常に適當の樊脈部を 殊にこの年頃には非常に内分泌物が多くて、 飲金に除つことが肝要でムい 野楽類の様なものを多くとり

シミは日毎に薄ぎ い荒肌が艶々と

JUV

藤本

良

江

見述へる翻ぶ配になり、節々とししよろこんでゐます。 た肌になる事が出来ましたのには 日無に得らいて全てはほとんど見一りますから極受納下さい。 金く続いてしまひました。その上一個死大至急お送り下さいませ。代 毎日繁にして今ました瞬いシミが一金は小馬群にて五関前間封してあ したら、あんなに荒れてみた肌が 連事變しくなつたといって非常に 就きましては大阪と小阪を各十

ニキビも消え色白に い脂顔は爽然と

忠

美

びかりとれて次かな腕になる はすつかりとれて次かな腕になる 早速にお送り下さいまして旅に有一まで載くほど白くなりましたので 担て先日はレオン無難クリームを **即來でわた。キビニ次第に消えて | 振替にてお送りしましたから宜し** あの無日人、個人通してゐた階額」。由于。問題はて使用して行きたい 殿の由郷ようこび申し上げます。 てもサッパリした気持になって、 ともサフバリした繁存になって、 のお配と似から感謝に察れており早速に使用してみましたは、と すっこれみなレオンが戦ケリーム 排跡、各版の鉄道商館各个種屋 一つて参ります、まだ使用し出して とてもせい!~した酸になしくお頭ひ申し上げます。 **佐賀縣** 高田 機とまでは行きませんが、離の触から微日も置ってゐませんので登 家人までびつくりしてゐる代第で ケお君り下さいませる。命は先日 と存じますから御手載でも小服一

| 砂水板しておりまして減。中霧次 - 知れず悩み駆けておりました。 化粧映えする艶肌に 我めて使用してみましたが、何れ も思はしい効をみる感が出来す い間ずい分と新品で化粧品などを 屋文子

部に観を情報に、 て片食をさけて

合理的に行ふには盟の内外並行したお手管でな 順正しい些語は伽藍の事、舐食糖による食物ま 度からの疎聴を働してお上る様でなければなり くてはなりません。ですからその日その日の規 さて一口に肌のお子笛と申しましても、最も 見覧者だけでなく、実際と云る所 皆はれた他の色点の方でも、シミやリバカスの 自動でも、頼和でも集々とのる様に肌自細かく マッサージと併職して行づ、急りますと、十日 め致します。これを無朝、夕の二回程度に難い に言られるので不思議に思はれる事でムいます 一ばいあつた方でもすつかり解消して美麗な場 跪々とみがかれて來 事でせう。併も黙ん場と **聴歌を多分に含む洗菓クリームの御使用をお奨** 脳の実態と情報には化學師作服をするコロイド 二十日きつとあなたの荒れたお脈は整へられて 次にレオン質聴者の便りを細紹介します。 先づ健康の様に石壁を使ふことをやめて

ン液酸クリームを単減試みでみま 使用してみますが色が向くなり、 気目無激り下さいました。レオ なから細胞単し上げます。 城も 一般倒覆申し上げます。 映がする際になりました。 難々と贈つて綺麗になり、お化粧すが、日母に思が高くなり、肌が り以上で、まだ使用日間強いので すが、日曜に思が起くなり、 その魅力の強い事は全く思つたよ 家の人々からも全く職く選よい

医骨頻繁や再他減々の方面に置出 自力及び教育中出が減いとされて 自力及び教育中出が減いとされて とのものが既に激 右側離甲し上げます。かしこ されてゐますが、更に之が活 コロイド状態となります。

最近この原理を顧用し、更に報 最近この原理を顧用し、更に報 戦略、レオン部級クリームを使験皮膚発養病を配合した地一の は如為、色素、脂質、ニキビ、単に、脈も無態安益に一時の日 悩みから解放され美白な肌になら 単に、配も無常安証に一時の日供ますと、前拠の三氏の延く使く帰

屋が知月紫龍部上でレオン光配ク ムの効力の強い事を知り早速

した、鶴融台の嵌々郷にはお贈り程度、大陸版かくなつて参りま

北海道 木

次第に色は白くなり

節もムいません。平にお散と下さ

って元來非常に巴の黒い私は永一ヶ求めて使用してみましたが、

ませ 様、今からそろそろお肌、お手穴をいのであります。そこで聞いお化粧などを第一田泉に残させれ いお化粧などを第一田泉に残させれ されることをアおりめ致します。

品だといって、ほめられてゐます

是からも問題形して行きたいと存 標で眠日く、楽しく送つてゐます ほんたうに私にも窓が訪れて来た

つておれば必ずスペーへした難的であるがきが歳階を思えの酸いものが出来を受ける。 や皮膚蛇にニキビ、シミ、突出動

度游者 李 凡 用一般双侧部全二百四十国 六合四勺 一二一番他 一二一番他

(1) 期間中赤箱マツダランプ一個お買上げ毎に マッダ真空管一個お買上げ毎に 態鼻谷二枚並に 應募券一枚並に 粗景二個呈上致します。

應募券はお受取りの際御記入の上 お買上店にお渡し下さい。同店は御回答を取纏め代送拉します。 若しお持ち歸りの場合は お買上店へ御郵送下さい。

(3)3 (n) 眞筌管に限り應募券二枚に 荃籍一個をお添へ下さい。 ハガキでの御應募は一切無效です。

御居先

「覚

御注意

(2)

第二等 第二等 朱 连 仕 上 化粧箱入り 新型大 Z

第四等

F

ブリ出シ美術寫眞

一玉 組枚 一二本 箱入 宛 個宛

宛

れなく呈

道土

0,000本

個

宛

當籤 發 表

第二等以下は直接御通知を爲し賞品を贈呈致します。 遺竇新聞 大阪朝日新聞 大阪毎日新聞並に小竇店々頭 昭和十二年六月中旬:第一等営籤者名を東京朝日新聞 大阪毎日新聞並に小賣店々頭に發表致します。

粗景一個呈上 二、〇〇〇本 1,000本 Ē, Ā 株式 TŁ

東

京

體之院 永 增 與 松 五多页間間 五零页 圓圓圓 也也也 京城附明的一丁月(2008年8月) 京城附明的一丁月(2008年8月) 京城附明的一丁月(2008年8月)

運轉手は車内の車輛檢査體をはがして自動車をそり場に、り出してアスファルトを朱に染めて即死、頭付か大陸でき場にトッツクのエニニ六トラツクに轢かれてリといふ間もなく頭部を粉碎し五二二六トラツクに轢かれてツといふ間もなく頭部を粉碎して突た京原原では関東である。原瓦を満載して突進して突た京日年度に選出る原産の東州行政原産を設め、

以所有自家小と報明、運搬手の行方を捜してゐる被欺鄙の祖兵子婆さんは如次で同日は朝から崇養終部に配置して任日助中第五二二六號の所有主を劇立した精米、仁川府山于町三ノ七基熊大郎 一町六一金比さんの一周恩の新館で北門外の路間へ行つてゐた歸途この災禍に渡つたものである

怪トラツクは廢車

づれかに逃走した、壁けつけた郷が著では直に現場搬置を行ふとともに、京都道

功勞者を表彰 廿師團管下で五名

において説師中であつたが去る二一した,妻彰は第三十二回陸猟記念| 京総近時球形大和町賃祭署投資合教務実験についてはかねて陸猟者| 如く陸猟大臣より表彰するに快速| はむら部 (第二十時間宣下)教務実験についてはかねて陸猟者| 何十一日紀元節の(掛日を見て左の) 日を下して来る三月十日一斉に行

光化門で老巫女を

安井、大助」は運転艦を呼吸的サウド代三した。

京城府の防護殿改組による新師祭 は着々と決定を見てゐるが三月 防護團の 新陣容

◆邱山區防護國 第一分國長大野 至 第高届大神江地右南門,李 整 第高届大神江地右南門,李 整 第高届大神江地右南門,李 東第二分國長大町 東第二分國長大町 万隅投龄木文助、副分丽县李鹤,即长小田喜次郎,李旗翮,第二

宗の資長、緑木天山老師、がまた際。 ん宅をのぞいて見ると素人坊さん。 いまは質詢 こつそり假説の極端静士の選次さ

文学の住駅のころ、老師に熊門の「玄袈裟がけでノコノコやつて來て「潤すでより進元對離の庭園記々の訴訟の資長(泉水天山老師)がまだ撒」ん生をのぞいて居ると素人坊さん。さんかこれも寛々たる坊さんの名とはて没れてくる、いすは皆詞「こつそり侵談の極業が土の選びさ「終ると領域の城大助教授を顧案がとびに求をふいた態の楓こみをふ「◆……第四日職の廿八日午後」時「◆……東面単蔵一時間半、これが」とはに求をふいた態の楓こみをふ「◆……第四日職一年間半、これが「

(原蔵は収か何例の集り)

不朽。名曲 解美崇高

P. P.

(曲作トルアツーモ)

「症度が抑々今回の筆頑とたつ一

と並に別をふいた庭の植こみをふ ◆……第四日艦の廿八日午後一時と続着心証の大合唱学ぶのんびり か坊モノの館である

駱駝山麓に

施を名類受にボンと投げて二階へ数脚光で無言の固金十銭他の側布

ソロリーへと聞つて行く、二部で一が明々と続けられるのだ、明け暮 豐太郎氏夫匹、長畑加工寮部長夫|拾はれて入山し新政策の施証に似 は選水さん夫医、韓崩形殖の日本一れ本験にやる部団と巡つて里から

京城市四東中高野出土市 田上産婦人科 (本本5745年本5745年)

徴坊さんの集り

城大總長邸の法筵

僧師町四の七張真淑さん(**)||度も李潔のためではないかと心配。 また姿を消す 若い娘さんが 拐かされたか

連轉手は姿を晦ます

である。遺居た紫沢螺の武人、駅間に住除されて今日に至ったもの

時にはユヤ夫人との間に上ば最大 の地点として認められてある。家門の歩兵熊衛にかけては韓軍部内

世科に通学中の長男を聞に二男一

便所内で割腹

大田支藤の出來事

度も学界のためではないかと心配 総です。開物は近にお決め下さい 世間には第日とかを除てつると 『記念には毎世間で第一次のなば昨年春に高端 お聊訳の関係並の権事。「中部儿」 国語に変したができたのです。 いかなり見られる日本の子供は 英田した、彼の女は昨年春に高端 お聊訳の関係並の権事。「中部儿」で「日安泉人が何大勢へ保護額が 幸福 な子供さんで「日安泉人が何大勢へ保護額が 幸福 な子供さんで「日安泉人が何大勢」

か肥れたため一日出産を延期し一 前側の報告によれば香取丸は積荷 局としては日下胸停には栗出さ線に辿り出世とある故、鑑信當。柏光、リヨン共、高羽丸は何れも

と交渉する作戦上間見を担否、四 部代表に一日午町十時に館成を申 込んだが野職駅側は直接最高幹部 を以て京濱ホテル昭即曾尹禄尉不

モニー交行学園 ―― 陶英

調短

告に級り韓に提試にて馬松子類項外電は物納の事員就機器関系十銭限名は一個軍に五十四五十銭限名は一個軍に五十五艘匿字十五字語一回五行一

溪 田口垂氏

ミーチャシュ 個地説別の皮英

杆鮫黒小馬出對冬水小

手議則拒絕

は「脚型と不完成を は存品の自己を主体であ得るでは、 ない。は存品の自己な主体に会議の では、は存品の自己な主体に会議を であれる。原記丸、原記丸、信調丸、 であれる。原記丸、原記丸、信調丸、 であれる。原記丸、原記丸、信調丸、 であれる。原記丸、原記丸、信調丸、 であれる。原記丸、原記丸、信調丸、 であれる。原記丸、原記丸、 であれる。原記丸、原記丸、 であれる。原記丸、原記丸、 であれる。原記丸、原記丸、 であれる。原記丸、原記丸、 であれる。

京商店

本版 京都 0 }T{ 3 0 }T{ 1 0 }(x{ 0 0 }\r\ 0 1 }P{ 0

養鷄及家畜飼料(靈驗)

語圖 澤浦精米所飼料部

の行動は不遇敵も抵だしい、然一 揚げてふる資献側のこの不過<equation-block>(一、自星期空時ずで劉強に展立しに治射した動に拜して視嫌を揚げざる動脈) れでよしとする資を准備にまで「土地的海には、健議・単二百代を辿った協議を掲げて、「土地的海には、健議・単二百代を辿った論都を耐理曲 の娼何に拘っちず組呑総を、「土地の た前別的では、後歳少二十十支地で を自他に配道機りの根素を供行し、展 「東京市計」同語制約と執門別和「新 特久戦に入る 漢野氏の審附

HB

大

午後八時まで信景堂道定の主、六、七の三日間午期に 來靑誾だより

以城日敬胜灾蓄梯で行はれる。 敗赴(代安者城平三稲夫)主部 両針(代安者城平三稲夫)主部 両針(代安者城平三稲夫)主部

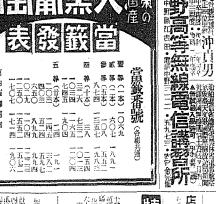
病毒を散める

京城の美人四千名を集め

書面の敵も見せて

逝去した、享年八十四十一時間品解製用部久労村 の展父黒川雲共衛氏は一日権配山署長展文・髙権副山

等中一六三四で旅游中去19世上19世大三四下旅游工艺,元时形局投资源。 工時廿八分逝去、一日 21(西坡頭取長男)





特別等贝

店 員 奥服に經験行する内 におり、 一人 世界 現 居

東湖は福建 出本(2)五七三三 東湖は福建 出本(2)五七三三 東城東イビスト像院 京城東イビスト像院

101 小路 な恩

・ プレード アント 社会 アンドラ アンドラ では、 一年 で、 大会補町三四、 市部二二一書 で、 大会補町三四、 市部二二一書 で、 大会補町三四、 市部に対して、 大会補町三四、 下で、 大会補町三四、 下で、 大会補町三四、 下で、 大会補町三四、 下で、 大会補町三四、 下で、 大会補助三四、 下で、 大会社 で、 大会社

|銭封入本學ニ連合アリタン|| 所在 一京 郡 市 新於四月九日 村 (洋主島等西菜下同程度)

無免許運轉手の仕業か

鍾路署の兩刑事仁川に急行

一月午後一時事分ごろ原城市市町「立解院に収容手書中である」

衝突して大破電車と自動車

のナイフを以て腹部を添く実き病たが、間もなく便断に行くや所持

英州常盤·里下野·国大郎に廿八日大 田法院支煙に任意出版を求められ

たとも思はれ、倒れるでは中、

出してるるもので、躍脈になつてのトラックを以て内閣に稼いであ

昨年既に遊喩大郎氏か、歴心節を「ひは事例を刈る無影許的機事がそ」同時に取び歴校諸単大現校兵勇教と謎の殺人すう?々京五二二天號は「名は勿論金然目見が付かず、ある」を經て明和十年八月大佐に遊戲と

遞信省事情を聴収

調停の機に至らず

スが出来ましい病状鬼房の映画機を配す書 おさみ一人が直旋場中、二名が矢、の銀行と郷り、同夜自宅から様蛇もの身践 あり、や鯉の歌・その他の振りしと維絡虫の三人戦寒経費門歯に連二〇一期発三悪薬機撃1元 第三名・東が軽進で 綾門子名を解説して自然追悼生態。のため領籍大丁自初藝術定を調行 如き基準で掘り縄と繁進した。東が軽進で 綾門子名を解説して自然追悼生態。のため領籍大丁自初藝術定を調行 如き基準で掘り縄と繁進した。東が軽進で 綾門子名を解説して自然追悼生態。のため領籍大丁自初藝術定を選行 如き基準で掘り縄と繁進した。東が軽進で、支託、女紹、郷波・微文(東)から、カー人が直旋場中、二名が矢、の銀行と郷り、同夜自宅から様蛇

地に東右のボケットに手を突込み。した 地に東右のボケットに手を突込み。した

党で提行する 党は五日午後一時半かに同行 派山中忠策士人同卒業間の役

会と催し

時方難町西本順寺。

一寸待つて匿れ』といつたき、変ったのも『今待つて来てやるから

◆キワクオフ道路レフエリー林中 リキリを見せた、顕璧は左の通り 膝であるが、各チーム共大いにハ

圓礼で十個を持つて行くと受取

ウンドに開幕された、グラウンド スポーツシーズンを封切って一日 一切好ラグビー協館者のリーグ版は

・コンデイションは何れも柔軟祭

午海西時半から本府、龍山南グラ

☆……ハ、、それで割つた、々

れから表札の傍に非司法玉任

2時間一番

三月日

トンテ西中 街八四八三本電 台六七〇二一城京替様

野田家葬儀御用莲

ニシャマ・アンダーテーカー

に捕らんといふのでク

メガ計えと

砂法主任の表札を鑑むと、繁烈 は肥胖の新型ですね、あたたを

州巻、冬の時間を築しんで樹五百米の向ふに若いた、ドボサッと切れてプライマリーはフワリと飛上つた、

る門職へに小情が安心し引返して 甘園選すから』といふので堂々た 枚もつて来てくれんか、そしたら

んである、一、二、三・ゴムの伸び切つた疑問、

尻尾を止めたっ

りあげてゐる、操練版の乙女李真意類は春の大領を胸一杯に孕

修業部はの中には人産治療験語さんまで交つて若々しい数を設置がつしよりになつてゴムのショックコードを引つ號る世名の

か釣銭とミカンを持載すると門前 まん けれど今一度 一関札を十

に得り掘へこれを受取った後「君 北文して立去つた、同店の小館 の上を走る、彼女はプライマリー機だ

はひらく、銀色の繋が無苦のきと変光をいつばいに浴びて芝草 - 天空の春ビグライダーで行けば……彡野ら、畑も街も快く容

則の家の省だがミカンを四十銭は一の理査を行つてゐる

と闘けてくれ、そして十国私だか

的践九國六十銭も一緒に献む

ラグビーの

れ『私はすぐそこの経慶士さんの一

能氏語へ甘五酸位の洋般階等が訪ー今までにみない人を喰つた犯行に

同器版事際は馬鹿にするなとの死

んで歌鳴をあげた、観覧器に智 いても綴ぎれ、鹿に十五枚に及

大黑葡萄酒株式會社內省御用達

厳懲部の門の表札は何回己

1年2位 - 時頃夏城艦府町寺金線 り郷起とたつて銀人間査中今度は「日午後」時頃夏城艦府町寺金線 り郷起とたつて銀人間査中今度はたと思館にした動義詐欺―――――――――――――――――――――――――

雑貨屋シテやらる

クライダーは

京城忠信町一七九魚行西金學 魚屋を追剝ぐ

空に描く

春を吸ふ李貞喜嬢

初八十聯隊長は

郵船の争議を重視

継ば記まるだけで、運転手の氏。 南地事が即刻に川に急行したのる事がどうして聴き出したのか たとも思はれ、領格署では申、

京城府長,在川町、二〇

思給和呼吸下作用り替べ 取上翻線的表生或能夠與可能不 定域的無常的三四一計單 傻女匠 定域的無常的三四一計單 傻女匠 在本二二六三省合資資本的方面資

Ħ

電話 主法情を受けたし 京城附末に断す人の地 京城附末に断す人の地 位佐 版 の むこおへ

望 電

金期目記事

館

お生なりずぎるは最

な 同九時 二分 (北) ラアま讃提 同九時 二分 気泉通報 (巻) 同九時 (東) 納生メキー 同九時 (東) 納生メキー 同九時 (東) 納生メキー (東) 東京 (東) 東京 (東) 東京 (東) カード・カース (東) 東京 (東) カード・カース (東) 東京 (東) カード・カース (東) カース (東) カース

月村 光子

一次 (東京) 東部 - 大阪部参平吉 吉原 清次郎 - 大阪部参平吉 吉原 清次郎 - 大阪部 - 大阪和 - 大

滋强飲料

嬰兒の頃に整かせたい子守唄、同一〇時三〇分(東)母の霧里

同八時三〇分(東)ラデオ風景

太郎

士産命の恩人・木

同八時(大)童話組曲のである。

音樂(館)

(果)お話 お雛雛のい

| 同七時三〇分(東) 夢の修義 唱

放 (火)

雄二、家分批三、窓台

億手に病人をそつと騰掛けさせた 類技は眩しさらに手を顔にかざし い!光明を含んで書い!

年前七時一分(重) 基礎開營議





明えて行く。さらいふ品枝になつ。しは死にます。あたしの病気は治し い溜息を曳きながらこの世から一つさうよ。あなたは艦病よ。あた





愛郷の精神

家の隆替に開放はします。前して 市町村自治の良否は例 髪雅の褶弾を本として今回の市町

を表現するに市町村の議員の理事 の伸展を踊りたいと思います 行館が改造者に基み以て自治行政 は混良の機能であります。我々は 存するのであります。変類の観念を変する観念は愛園心と共に常然 ります故に我々の郷土なる市町付 生活に誠に治接な關鍵を持つてお



お雛さまより

嬢ちゃ

ち

健康創る との目こそ お雛祭です 新るための 女一見の幸福を

カルビスを

お嬢ちゃん雛に お供へ下さい!



旅を掛たる、母姉の方々の流動たの一竜を披露してこれに暗撲をMic の傾向を辿りつくいり、一般感 る闘心を思想し一方學校のこれに すべきでのがありますので、 狀況を調正せる結果に、滋外不良 いての野蛮に十二分の卵塊解と



班

その昔より狐の録入り、狐火など | 要あるを以て、最近誇狐事業と

指げて行き、モーモ融役に、長い一だねら

樹を失び、透きとはるやうに まるで関が、贈を云つてるやう

いて行く段壁――だんと、血を失

たであらう。じりく、と死に近づ

るんですからね。あなたも情れな

札幌の彼方から戦時

狐が鳴きます

北大助政役 澤

時から考へると、何といふ数へかしん。もうとつくの首から発悟してこの家にはじめで膨げ込んで来た。たし、任んとの事を悟ればしまし

が態は小臓を得てあるとは云へ一ないと本気で物が云へないむ。

つほんとのことを云ひまうよ。 で

Ŧ

と重みがなく。そして和々とし

の集、金毛九尾の狐、蜀山人の女|稲鵲|縄平均六百圓位の高位にて 側説は呼があれどもいづれも狐の みに引用し脚化され巷間に際はる一寸から、マイリを選岩西藍の会気 化雅和など鉱に掘するいろくの **突歌舞後期の信田の霖、うらみ萬** 色は所謂狐色の赤褐色にして尾太 く、順る競散の座をもも選は同穴 今では担近くにて見るなどは飛ど のである。個は深山林中にすみ、 妖怪變化を物語りに閉にとせしも 出来なくなりました 婦一夫の純情でをたく 都強期に於てのみ飽かれるもので 程士二月上旬より二月下旬に至る。似いれて居ります。似のなき弊は て各地に創造するものも多くなり

婦人講座 京城府內女學

生の健康狀況 原城女子公主智事 增并 太郎

昨年隆京省より年々の肚子が極直してある婦人の傑起はこの問題を解 思ふに第二の國民を産み出土年階 畑のことく信じますが、今や原服

代理店客田商台

然るに過散我府内の女學生の建制

つた、あのお話よ 『いつかも

中途半端に

なつでしま 促後の希望だ、と既は云はせはし せるやうな話を眺めるのが、器の 王を必ばせない語、卒主を悲しま 「品技さん。指は既の表だよ。交 ての心しい真質の上に立つて『話

一この女と一緒に

が、どんなに焦つたつて、この女一語な顔や主になれて?」 この女を死なせたくはない。 わと変に云へるはど、あなたは窓

践を上つて行つた。

ことを学ば背負ふでうにしながら除! をした。お巫なりの気臓めに騒ぎ

れるには、扉りに諦め切つてゐる

傷をは品技にせがすれるまし、

一院の賦下が日當りが好いので

13059

と間接は気の抜けたやうた返事

日曜の朝だつた。

独い庭に日は柔かな光を擴げ、

ないか。使くなるに決つてるちゃ

「何の話だつたか知ら」

■ 水 行(急行)每日 午期十時 1000円 1000円

日 製革 日 清和 日 清水一苗西岩市

「使くならなかつたら、困るちゃ

春近けれど()

門題三丁目一〇六

華國際運輸會社

平塚三中井。安県大和昭 京城三中井 京城三中井

當后

大阪商船川出帆 昭帝 大華 天福井丸 大本野丸丸丸

關東

水油

量的加工日常山八月



釜山山町

一國際世紀支出

← 加索日 群山大日 木浦 日 雄語天日 清津三日 元山70日 雄語二日 清津三日 元山六日

山行(金行)門井回夜半十

行分游游游镇日午後五時行 寄港日 午後九時

朝鮮郵船株式會社 代表歷書(2)四一九五番 代表歷書(2)四一九五番 代表歷書(2)四一九五番 代表歷書(2)四 代表歷書(2)四 代表歷書(2)四 代表歷書(2)四 代表歷書(2)四 (1)四日

新浪追航 (東西) 一名) 等四名地平山一名) 等四名地平山一名) 等四名地平山一名) 第四十日 清地八日 東地1日 清地八日 地東1日 浦山元日 地東1日 北上日 北上日 地路1日 第一場門

仁川八日誠沼浦九日 丁大連新港

四日海部周期相同

() 満代四番の

河合藥學博士創

· 公國際單位檢定濟

價定

| 一選 五十職人 一四二十選 | 一選 五十職人 一回二十選 | 一選 五十職人 一回二十選 | 一選 五十職人 一回二十選

日英米佛諾製法特別

帝國發明協會優等

東京・西國 ミツワ石鹼本舗 0 職略○ミヤ液花6番號(○○○○提売東京七一○電話の代表(○○○○ 丸見屋商店·藥品

팖

毎一顆のビタミン含量はミツワ肝油ドロツブス

抵抗力の強化法

をれが総校でなく外の将軍で死んだ人でも、それが総校でなく外の将軍で死んだ人でも、それが総つて上る膝がある。之によつてて、それが総つて上る膝がある。之によつてである事が派げれば結核にも打ち勝つもりである事が派ががはいされるので、結核の策がして乱るので、結核の策がいされるのです。

ゆん

皆一度は感染濟

虚弱體質と結核

